

IFAT INDIA 2018 ファイナルレポート

インド上下水・廃棄物・リサイクル・専門見本市
2018年10月15日～17日
インド・ムンバイ / ボンベイ・エキシビション・センター ホール4

2018年10月18日

IFAT India 2018: 活動的なインド環境市場

Summary

- インドの環境問題における解決策の探求
- 見本市の出展社および来場者数の急増
- 初開催で成果を挙げたイノベーションパビリオンおよびバイヤー・セラーフォーラム



Facts & Data

会 期	2018年10月15日(月)～17日(水) 午前10時～午後6時(最終日のみ午後5時まで)
会 場	ボンベイ・エキシビション・センター(BEC)、ホール5
主 催	Messe München –メッセ・ミュンヘン Messe Muenchen India Pvt. Ltd. –メッセ・ミュンヘン・インド
規 模	11,000 m ²
出 展 企 業	242社(2016年:184社)
来 場 者 総 数	7,441人(2017年:6,765人)
主 な 出 展 品	水抽出技術、上水・下水処理、配水・下水管、廃棄物処理、リサイクル、廃棄物発電、エネルギー効率技術(上・下水、廃棄物、リサイクルのサービス・製品含む)、工場跡地汚染除去、土壌処理、排ガス洗浄、空気抽出技術、防音、測定・制御・ラボ技術、環境マネジメントとサービス、学術研究・リサーチ など
専 用 URL	www.ifat-india.com

10月15から17日までムンバイで開催された IFAT India 2018 において、環境技術産業は、インド亜大陸の課題である埋立ごみ量の軽減、魅力的な飲料水、廃水の利用規模の更なる拡張を取り扱った。上水、下水、廃棄物、リサイクルに焦点が置かれた。7,441 人という記録的な来場者数は（2017 年： 6,765 人）、インド国内の環境問題に対する解決への要求が高まっていることを証明した。

メッセ・ミュンヘン専務取締役のシュテファン・ルンメルは、次のように述べた。「インドの環境市場は勢いを増している。海水の淡水化、産業廃水の処理、廃棄物処理システムの拡張などのテーマが、この国の産業を動かしている」。主催者であるメッセ・ミュンヘン・インド CEO、ブッピンダー・シンが見本市の素晴らしい結果について、次のようにコメントした。「合計 11,000 平方メートルに及ぶ展示スペースにて、242 もの出展企業（2017 年： 184 社）が環境技術分野における最新のソリューションや技術開発状況について発表した。IFAT India の成長は、環境技術に関するインドの将来性を示している」



国際的な活動の出発点

国際企業も潜在能力を見出した。COPEX S.A.社セールスマネージャーの Anne-Marie Kervran 氏は、次のように述べた。「インド市場において切望されているわが社の製品の将来的な発表について、既にインド企業と協議している」。ボンベイ・エキシビション・センターにおいて最も多かった出展企業は、インドを除き、ドイツ、アメリカ、中国、韓国そしてスイスであった。「国際環境プロジェクトとの共同出展ブースである IFAT India 初のイノベーションパビリオンは、国際的な技術移転および潜在顧客との関係を構築する理想的なプラットフォームを提供した」と、Hydro-dis 社最高経営責任者の Mark Carey 氏がコメントした。

技術提供者とバイヤーを結び付けることを目的としたバイヤー・セラーフォーラムも、この展示



会で初開催された。このフォーラムは、IFAT India 主催者が準備した個別のビジネス会合にとって理想的な枠組みであった。Andritz Technology Ltd 社マーケティングマネージャーの Pravin Singh 氏は、次のように熱意を込めて述べた。「バイヤー・セラーフォーラムは、潜在顧客に会い、交流を図り、理解を深めることができる特別なプラッ

トフォームだ。バイヤーとセラーの双方に有利な状況を作り出している」

専門家レベルの情報交換

情報交換は、ブースにおいてだけでなく、併催プログラムでも行われた。「インドの深刻な水不足をいかに解消するか」、「公共部門とインフォーマル部門が、より一層緊密に協力して、いかに廃棄物処理に当たるか」というテーマは、亜大陸市場の要求に合わせたものであった。IFAT India およびドイツ・ミュンヘンの親見本市 IFAT の多くのパートナー協会により、ワークショップやパネルディスカッション、専門家によるプレゼンテーションが実施された。国内外の協会を含む、多くの新しい後援者が見本市に参加した。Deutsche Meerwasser Entsalzung GmbH (ドイツ海水淡水化協会) 社長の Claus R. Mertes 氏は、次のように述べた。「IFAT India は、インドの海水淡水化市場の最近の動向について、深い見識を得ることができる素晴らしい機会だ」



また、今回初めてムンバイ市 (MCGM)がこの見本市の共同主催者となった。ムンバイ市副市長の Rajeev Kuknur 氏は次のように話した。「IFAT India は環境技術に対する最も効果的な見本市の一つであると共に、我々の将来のニーズに対する最新技術を選択する最善の方法の一つであり、IFAT India 2018 の共同開催はとても喜ばしいことだ」

IFAT India 2019 ムンバイとデリーで開催

非常に大きい産業需要により、2019年のIFAT Indiaは2回の開催を予定し、10月16日から18日までムンバイ、12月5日から7日までデリーにおいて開催される。ブツピンダー・シンは次のように述べた。「IFAT India 2018により、インドでは環境技術を至急必要としているだけでなく、これを探し求めていることが再度明らかになった。デリーにおける追加見本市により、需要を満たすと同時に、インド北部の産業と政治により近づくことを目指している」

詳細情報はこちらまで: www.ifat-india.com.

資料請求、出展申込み、各種お問い合わせ先:

メッセ・ミュンヘン 日本代表部

株式会社 メッセ・ミュンヘン・ジャパン

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 3-20-3 ノアーズアーク虎ノ門 5 階

Tel.: 03-6402-4583 Fax: 03-6402-4584 E-mail: info@messe-muenchen.jp

URL: www.messe-muenchen.jp (日本語) www.messe-muenchen.de (英語 / ドイツ語)